

# ステップ アップ 『日進月歩』

努力することをやめない。  
神様は、努力が好きなのです。

パリューゴルフ  
**VALUE GOLF**  
www.valuegolf.co.jp

## 『ゴルフにもシェア文化!?』

時代の変化に伴い、現在は価値観もさらに多様化している。その中で、モノを所有する時代からシェアする時代に移り変わり、様々なサービスが生まれた。その代表的な一つに、カーシェアリングがある。

ゴルフと同様に、クルマも若者離れがクロウズアップされている。その背景には、免許の取得がめんどろ、金銭的に車を購入することが厳しい、と様々な理由があるが、車を所有せずに、乗りたいときにだけ、維持費もかからずに借りることができる便利なサービスがカーシェアリングというわけだ。

カーコンビニ倶楽部の林代表に聞いた話だが、カーシェアリングを初めて利用する人に、利用する理由を問うアンケートを取ると、「クルマは欲しいけれど、今はまだいいかな」という人と、「マイカーなんて全然必要ない」という人がちょうど半々、ということだ。ところが、一回でもカーシェアリングを体験した人に再度アンケートをしてみると、「自分のクルマを持ちたい」人が86%に跳ね上がるそうだ。

この傾向は、ゴルフの貸しクラブと似ている。クラブを持たないで、手ぶらでゴルフ場へ行き、貸しクラブでプレーを楽しむ人も増えてきているという。昔は、貸しクラブといえば、たいしたクラブではないのが当たり前だったが、現在は色々なゴルフメーカーが率先してゴルフ場の貸しクラブにニューモデルを置くようになってきている。自分でクラブを持っている人もこの貸しクラブを利用し、そのクラブで打感が良かったり、よく飛んだりすると、ゴルフアールは、これを手に入れたらいい!と、買い替えるモチベーションになっていくようだ。

タイガー・ウッズは、ずっと同じパターを使い続けていた。スコッティ・キャメロンの『ニューポート2』はウッズの輝かしい10年間を支え続けた。パッティングに悩んでいた1999年のシーズン途中に『ニューポート2』に変更し、その後の11試合で9勝を挙げたのだ。自分のクラブを持たずに楽しむことももちろん悪いことではないが、このように、一つのクラブを所有し、そのクラブと苦楽を共にし、思い出を共有する楽しさもあることは、若い方々にも知っていただきたいと思う。

一方で、こだわり派も増えている。グリップのハメ替えだけできるとかロフト調整ができるとかだけでなく、その一歩先を行くフィッティング屋さんや流行っている。フィッティングではデジタルを駆使して、ヘッドスピードを測ってあれもこれもやって、「あなたの場合、シャフトはこのメーカーのこういうシャフトの、このやわらかさを使ったほうがいいですよ」と細かなアドバイスをもらえることが人気のようだ。

入り口は、シェアするクラブで、そしてだんだんと自分だけのクラブ、プレースタイルを確立し、楽しんでもらいたいと思う。



戸張 捷 Sho Tobari

1945年、東京生まれ。高校からゴルフを始め、3年で全日本ジュニア3位、大学4年で日本アマ9位。住友ゴム工業(現SRIスポーツ)に入社後、株式会社ダンロップスポーツエンタープライズへ出向。トーナメントディレクター、プロデューサーとして日本ゴルフ界に貢献した。現在は、ゴルフキャスターとして活躍するほか、ゴルフトーナメントやイベントのプロデュース、コンサルティングなども手掛けている。